

実施事業別の進捗状況（令和元年11月現在）

事業	実施主体	進捗状況	備考
(1) 拠点連携を支援する地域内交通システムの検討	南房総市 交通事業者 地域住民	△	再編実施計画を策定し、一部実施済 丸平群線の再編計画、千倉線のルート変更、豊房線のルート変更のうち、千倉線を実施している
(2) 高速バスの1次交通としての充実・利用促進			
①「ハイウェイオアシス富楽里」及び「とみうら枇杷倶楽部」相互間における乗降可の実現	高速バス事業者 南房総市	×	引き続き、バス事業者と調整を図りたい。
②高速バス全便の一般道における一般乗降制度の実施	高速バス事業者 南房総市	○	ジェイアールバス関東(株)の路線（南房州本線、洲の崎線）にて実施している
③千倉地区のP&B R駐車場を活用した高速バスの路線見直しによる千倉発着便の増便	高速バス事業者 南房総市	△	提案中も利用者が少ないため現状が厳しい 駐車場は整備済
(3) 廃止代替バス路線の運行方法の変更と新たな交通システムの支線運行	南房総市 交通事業者	△	再編実施計画を策定し、丸平群線の再編計画を盛り込んだが、未認定のため未実施
(4) 市営路線バス及び交通空白地域における多様な交通システムの運行方法の検討			
①交通空白地域における住民主体の地域交通育成のためのキーマンの確保	南房総市 地域住民	○	地域住民が主体となった運行システムを構築 ・そら豆バスの実行者
②小規模需要地域における地域の協力を前提とした協定方式による検討	南房総市 交通事業者 地域住民	△	協定まで至らぬが、行政支援により地域運行システムを構築 (そら豆バス)
③交通空白地域における多様な交通システムの運行の検討	南房総市 交通事業者 貨物運送事業者 地域住民	○	バス事業者と連携した貨客混載の取り組みは、実証実験を経て、2017年12月より高速バス千葉便のちばシティバスで実施している
④交通事業者が地域交通に対するインセンティブを付与する取組	南房総市 交通事業者 地域住民	×	未実施
(5) 交通結節点の機能強化			
①白浜地区におけるバスターミナルの整備	南房総市 交通事業者	○	平成27年に安房白浜駅バスターミナルを整備
②和田地区における「田舎版P&R」の整備	南房総市 交通事業者	×	未実施
③その他・道の駅等の交通結節点としての整備	南房総市 交通事業者	△	富楽里、枇杷倶楽部のバス停で乗り継ぎができるよう情報発信を行っている
④バスロケーションシステムの導入	南房総市 交通事業者	△	高速バス路線のみで導入されている
(6) 駅舎（ホーム）のバリアフリー	南房総市 鉄道事業者	×	未実施（一部に既案内サイン標識あり）
(7) 道路整備に合わせた公共交通の定時性を確保するための方策の導入	南房総市 道路管理者 バス事業者	×	未実施
(8) 地域住民・来訪者等利用者にわかりやすいバス路線図の作成・配布	南房総市 バス事業者	○	平成27年度公共交通ナビを作成し、全戸配布を行った。更に令和元年度には改訂版を作成した
(9) 地域住民・来訪者等利用者にわかりやすいデザインの導入	バス事業者 南房総市	△	道の駅2か所、千倉駅前バス停で統一サインによるサインシステムを導入している
(10) サイクルアンドバスライドの拡大	南房総市 バス事業者	○	枇杷倶楽部バス停に南房総市観光インフォメーションセンターが設置されたことにより、一部利便性向上が図られた
(11) 交通系ICカードの導入	南房総市 鉄道事業者 バス事業者	△	高速バス便（千葉便）で導入された
(12) 多様な運賃制度の導入			
①運転免許証の自主返納制度による特典の充実	南房総市 交通事業者 観光事業者 商業者等	○	運転免許自主返納証明等手数料助成金制度を創設
②公共交通利用者の主流となる高校生に対する通学支援	南房総市 交通事業者	×	ジェイアールバス関東(株)の路線（南房州本線、洲の崎線）にて実施している
③地域内交通の共通運賃や乗り継ぎ割引料金の設定	南房総市 交通事業者	△	一部路線で共通乗車券利用を導入した
④企画切符等の販売	南房総市 交通事業者 観光事業者 商業者 レジャー事業者等	△	列車、レジャー、高速バス利用を組み合わせをJRの旅行商品で実施した
(13) 公共交通利用促進への意識啓発	南房総市 交通事業者 教育委員会	△	転入者や希望者へは交通マップ配布を実施している (バス事業者事務所、市役所本庁、各地域センター、一部の道の駅、観光案内所)